

An aerial photograph of an archaeological site. A grid of white lines is overlaid on the ground, indicating a survey area. A person is standing on the right side of the grid for scale. The site appears to be a large, flat area with some structures or foundations visible. The background shows a wooded area and a road.

Ⅱ 飛鳥・藤原宮跡等の調査概要

表14 2010・2011年度 都城発掘調査部（飛鳥・藤原地区） 発掘調査・立会調査一覧

調査次数	調査地区	遺 跡	調査期間	面 積	調査地	担当者	調査要因	掲載頁
(2010年度)								
165次(西区)	5AMJ-F、 5AMK-A	水落遺跡	2011.1.5～2011.4.8	340㎡	明日香村飛鳥	黒坂貴裕	学術調査	134
(2011年度)								
169次	5AJG-H	藤原宮朝堂院朝庭	2011.4.4～2011.12.15	1350㎡	橿原市高殿町	高橋知奈津 廣瀬 覚	学術調査	84
170次	5ANI-P	キトラ古墳	2011.6.13～2011.6.24	-	明日香村阿倍山	若杉智宏	学術調査	146
171次	5AKG-L	甘樫丘東麓遺跡	2011.9.22～継続中	880㎡	明日香村川原	清野孝之 小田裕樹	学術調査	144
172次	5BHQ-C・R	檜隈寺周辺	2011.10.20～2011.12.2	402㎡	明日香村檜前	黒坂貴裕	公園整備	151
168-1次	5AJB-T	藤原宮東方官衙北地区	2011.4.4～2011.4.22	102㎡	橿原市高殿町	若杉智宏	建物建設	94
168-2次	5AJB-U	藤原宮東面中門、大垣	2011.7.19～2011.8.30	204㎡	橿原市高殿町	森先一貴	建物建設	98
168-3次	5AJF-N、 5AJG-B・J・N	藤原宮大極殿院南門、 朝堂院東門、西門、南門	2011.4.27	4㎡	橿原市高殿町	若杉智宏	看板設置	82
168-4次	5AJC-U	藤原宮外周帯	2011.8.9	3㎡	橿原市高殿町	小田裕樹	建物建設	82
168-5次	5AJB-R	藤原宮東方官衙北地区	2011.9.7～2011.10.7	127㎡	橿原市高殿町	森先一貴	建物建設	104
168-6次	5AJB-R	藤原宮東方官衙北地区	2011.10.3～2011.10.18	48㎡	橿原市高殿町	木村理恵	建物建設	104
168-7次	5AJB-R	藤原宮東方官衙北地区	2011.9.22～2011.10.24	157㎡	橿原市高殿町	高橋知奈津	建物建設	104
168-8次	5AJN -M・N・T・U	藤原京左京二条三坊	2011.12.5～2012.1.25	295㎡	橿原市法花寺町、 高殿町	木村理恵 庄田慎矢	水路改修	120
168-9次	5AJH-L	藤原京右京七条一坊、 朱雀大路	2011.11.21～2012.3.23	336㎡	橿原市上飛騨町、 高殿町	高橋 透 他5名	水路改修	82
168-10次	5AJF-H・J	藤原宮内裏	2012.2.22～2012.3.8	12㎡	橿原市醍醐町	番 光	堤防改修	82
168-11次	5BYD-L	山田寺	2012.2.27	15㎡	桜井市山田	桑田訓也	水路改修	82
168-12次	5AJB-R・S、 5AJF-C・D	藤原宮東方官衙北地区	2012.3.7～2012.3.8	145㎡	橿原市高殿町	桑田訓也	道路拡幅	82
168-13次	5AJE-S、 5AJF-T	藤原宮内裏西官衙地区	2012.3.15	1㎡	橿原市醍醐町、 高殿町	番 光	看板設置	82

表15 2011年度 都城発掘調査部（飛鳥・藤原地区） 小規模調査等の概要

調査次数	遺 跡	調 査 の 概 要
168-3次	藤原宮大極殿院南門、 朝堂院東門、西門、南門	藤原宮四門再現表示のための看板設置にともなう立会調査。各門の脇に約1㎡の掘削をおこなった。深さはいずれも10cm程度で、遺構に影響がないことを確認した。
168-4次	藤原宮外周帯	建物建設にともなう立会調査。掘削は遺構面に達しなかった。
168-9次	藤原京右京七条一坊、 朱雀大路	大和紀伊平野土地改良事業にともなう事前調査。今年度施行部分のうち、旧管の改修部分114mは立会調査、新規掘削部分100mは、両端の10mずつは発掘対応、残りを立会調査とした。古墳時代以降の南北溝3条、斜行溝1条などを検出した。
168-10次	藤原宮内裏	醍醐池堤防改修工事にともなう立会調査。崩落土砂除去と土留め設置にともない、堤防内側を長さ15mにわたり一部掘削をおこなった。掘削されたのは近世以降の積み土であり、遺構に影響のないことを確認した。
168-11次	山田寺	水路改修にともなう立会調査。第162-6次調査区（2010年度）の再掘削。掘削が遺構面に達しないことを確認した。
168-12次	藤原宮東方官衙北地区	道路拡幅工事にともなう立会調査。掘削は遺構面に達しなかった。
168-13次	藤原宮内裏西官衙地区	藤原宮案内用標柱設置工事にともなう立会調査。掘削は深さ50cmで、遺構面に達しなかった。

表16 2011年度 都城発掘調査部（飛鳥・藤原地区） 現場班編成 ※総担当者

春	夏	秋	冬
石橋 茂登 (考古第一)	玉田 芳英 (考古第二)	渡辺 丈彦 (考古第三)	※清野 孝之 (考古第三)
若杉 智宏 (考古第二)	※廣瀬 覚 (考古第一)	黒坂 貴裕 (遺 構)	山本 崇 (史 料)
※高橋知奈津 (遺 構)	森先 一貴 (考古第三)	※小田 裕樹 (考古第二)	庄田 慎矢 (考古第一)
桑田 訓也 (史 料)	番 光 (遺 構)	木村 理恵 (考古第一)	高橋 透 (考古第二)
橋本 美佳 (考古第三)			山本 祥隆 (史 料：研修)
			川畑 純 (考古第三：研修)
総括：部長 深澤 芳樹	写真担当：企画調整部写真室	保存科学：降幡 順子 (考古第一)	